

中小企業の活性化に向けた実態調査

<今年度テーマ（案）> 地域への人材定着に向けた意識調査（仮題）

地域企業の人材育成・確保・定着に向けた具体的施策を検討するため、現在の仙台・東北地域で働くことのリアルな意識を統計的に把握

調査の特徴

- ・市域内外で働く本市出身者及び本市内大学を卒業した働き盛り世代（20～40代）を中心に調査
- ・中小企業だけでなく大企業で働く方も対象として、それぞれの働くことへの考え方の違いを調査
- ・協力頂いた企業の採用担当者、大学の就職担当者等が人材育成・確保等に向け活用できるよう結果を公表

調査方法

主に本市内大学の卒業生である市域内外の20～40代の勤労者に対して、アンケート調査を実施する。また、状況に応じてヒアリング調査の実施も検討する。なお、世代間の価値観の相違を把握するため、今後の勤労者世代となる10代、保護者世代でもある50代も調査対象とすることも検討する。

<具体的な調査方法>

- ①本市内大学との共同での卒業生への調査
- ②SNS等による情報発信を行いWEBを活用したモニター調査
- ③本市に支社（所）がある企業に勤務する本市出身者及び本市内大学卒業生への調査
- ④地元経済団体所属の中小企業に勤務する本市出身者及び本市内大学卒業生への調査

調査項目

<主な調査項目（例）>

- ①出身地
- ②現在の居住地等生活環境
- ③現在の事業所及び地域で働くことに対する目的や満足度
- ④在籍大学の所在地で就職した（又はしなかった）理由
- ⑤在籍大学の所在地（又は出身地）にある中小企業への就職についての意識
- ⑥大企業と中小企業で働く方の働くことに対する価値観の違い
- ⑦転職経験
- ⑧（保護者の観点から）中小企業へ就職することの意識

～東北出身者で、現在東北以外で働いている方への追加調査項目～

- ⑨出身地又は仙台市での就職（転職）希望の有無
- ⑩出身地又は仙台市で就職（転職）するために課題となっていること
- ⑪出身地又は仙台市で就職した（又はしなかった）理由
- ⑫出身地又は仙台市で働くことの意味や意義

調査結果の活用

本市、企業の採用担当者、大学の就職担当者の方などが仙台・東北地域で人材の育成・確保・定着に向けた戦略を検討する際の基礎資料として、提供・活用する。

仙台・東北の出身地や在籍大学所在地（主に本市内）で働く意向や課題等を把握することで、他県と比較して低調となっている県内大学新規卒業生の地元就職率の向上を図るとともに、中小企業の喫緊の課題となっている人材の育成・確保・定着に向けて、行政、事業者、関係団体等が一体となって取り組む具体的な施策を検討・実施していく。